



名称	棕梨氏墳墓地
よみがな	むくなししふんぼち
指定	市指定
種別	史跡
種類	遺跡
所在地	大和町棕梨
所有者	三原市
指定年月日	昭和 48 年(1973)10 月 9 日
構造形式	石造 墳墓・宝篋印塔・五輪塔
公開状況	常時公開
交通案内	JR河内駅から北へ約 11km

【解説】

棕梨氏は源頼朝に重用された土肥実平^{どひさねひら}四代の孫、小早川季平^{すえひら}に始まり、その子国^{くに}平^{ひら}の代に棕梨に入ったようである。その時棕梨氏を名のった。十二代のちの景良^{かげよし}のとき毛利氏に従い、萩へ移るまで棕梨城を中心に繁栄した。

墳墓地には、棕梨氏一族及び家臣の墳墓・宝篋印塔・五輪塔がおおよそ 60 基ある。開田のため、山林の麓に移動させたと伝えられる。